

出雲縁結び空港開港50周年記念式典



開港50周年記念のくす玉開き

8月5日、出雲縁結び空港で「開港50周年記念式典」と「空港夏まつり」が開催されました。

記念式典では、溝口知事や長岡市長、植木日本航空社長、三輪フジドリームエアラインズ社長らがくす玉を割り、50周年を祝いました。

式典に続いて開催された空港夏まつりでは、しまねこのステージや石見神楽の上演など多数の催しがあり、多くの家族連れでにぎわいました。

出雲縁結び空港は50周年の節目を迎え、さらに便利で、愛される空港をめざしています。

第11回出雲神話まつり開催

8月7日、くびき中央通り周辺を会場に「出雲盆踊り」が、21日には、大津神立河川敷公園を会場に「花火大会」が行われました。

出雲盆踊りには、幼児から大人まで、32団体、約1,000人の踊り子が参加し、音頭に合わせ練り歩きました。

花火大会では、特設ステージにおいて華麗なダンスパフォーマンスが繰り広げられた後、出雲商業高校吹奏楽部の演奏にあわせ、約8,000発の花火が打ち上げられました。会場からは、大きな歓声と拍手が何度もわき起こりました。



出雲盆踊り



花火大会

出雲農林高校カヌー一部全国大会で大活躍！



全国高校総体総合2位の出雲農林高校カヌー一部

8月9日から山口県で開催された全国高等学校総合体育大会カヌー競技で、出雲農林高校カヌー部の中尾一稀選手と長島啓人選手が男子カナディアンペア200mで優勝、同500mで準優勝しました。さらに奥井恭平選手と石原起人選手を加えたカナディアンフォア200mでも準優勝し、学校対抗の総合成績では2位になるなど、素晴らしい成績を収めました。

この4選手は、8月19日から山梨県で開催された日本カヌースプリントジュニア選手権のカナディアンフォア200mと400mでも優勝し、活躍の勢いはとどまりません。

選手たちは、国体など今後の大会に備え、さらにステップアップするために日々厳しい練習を続けています。

神門通りに「じょうき」が復活

8月20日、出雲大社参道前の神門通りで「神門縁日」と「出雲キャンドルナイト2016」が開催されました。通りには多くの人が訪れ、キャンドルの幻想的な灯りや懐かしのじょうき行列を見て楽しんでいました。

じょうき行列は、江戸時代に精霊流しに適した川がなかったため、子どもたちがコマをつけた屋形船など紙貼りの船を作り、ろうそくを入れて灯りをともし引いて歩いたのが始まりといわれており、神門通りでは3年ぶりに行われました。



じょうきを引く参加者



人 口	175,013人	(- 65)
男 性	84,780人	(- 18)
女 性	90,233人	(- 47)
世帯数	63,620世帯	(- 16)

[平成28年8月31日現在]

前月比

10月の市税・保険料の納期限

市県民税（第3期）、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料（第4期）、介護保険料（第4期）の納期限は

10月31日（月）です。 期限までに忘れずに納めましょう。